



YANMAR

SMARTPILOT

省力化&生産性向上を実現する自動農機

ヤンマーオート田植機  
YR8D 8条植え

2019年春 DEBUT



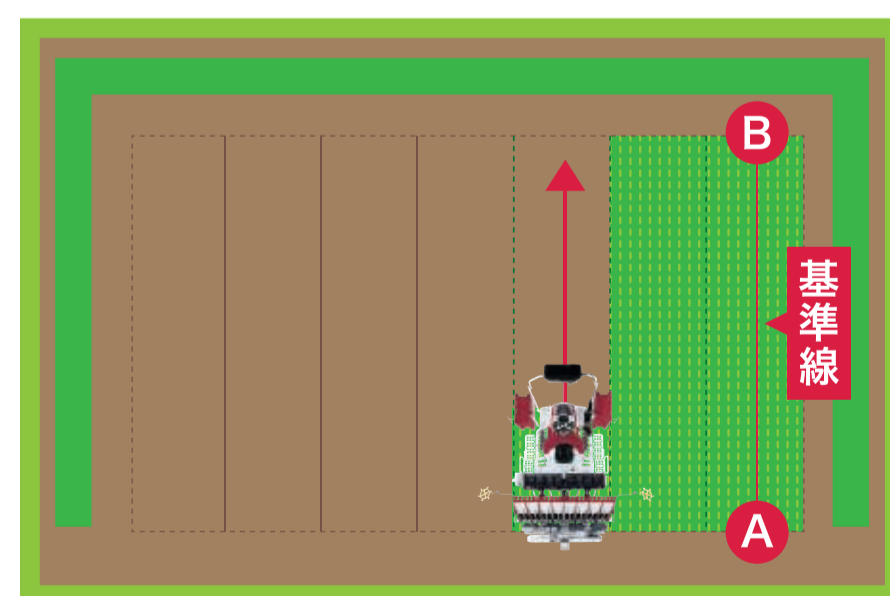
※写真は開発中のモデルであり、実際の販売モデルとは異なります。

# 高精度測位方式RTK-GNSSを採用、 自動直進と自動旋回も可能に。

## 誰でもまっすぐの田植えを実現

### 自動直進モード

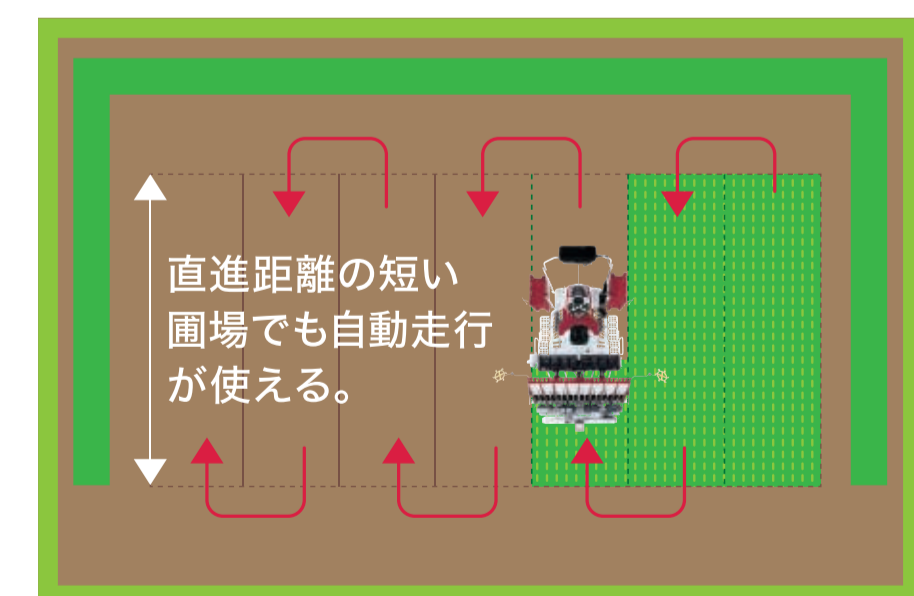
基準線に沿って自動で直進走行。田植えをまっすぐ行うことに神経を使う必要がなくなります。RTK方式により、次工程でも植え付け条間を一定にします。



## 自動旋回で長時間作業の運転疲労も軽減

### 自動旋回モード

直進距離が短いほ場でも連続作業が可能に。「すこやかターン」との組み合わせで自動植付作業領域が増え、作業能率もアップ!



## タブレットで簡単操作

タブレット端末で田植えに不慣れな方でも操作が可能に。



## オート田植機×ヤンマーの密苗でさらに能率アップ!

 <b>育苗箱数</b> <b>1/3</b> 4,500枚、1,500枚 (育苗ハウス 9棟→3棟)	 <b>育苗資材費</b> <b>1/2</b> 145万円、67万円 (育苗箱、培土、 ハウス資材)	 <b>播種・ 苗運搬時間</b> <b>1/3</b> 195時間、65時間	<b>管理方法は 従来と ほぼ同様に 難しい 技術は不要</b>
--	--	--	--

※水稲30ha経営で播種量(乾籾)を慣行100g/箱、密苗移植300g/箱とし試算した場合